

# 製造業は好調を維持！建設、小売、サービス業は改善傾向が続かず悪化に転ずる！

－ 2017年7月～9月期 中小企業景況調査報告書概要－

日銀が10月2日に発表した9月の企業短期経済観測調査（短観）によると、企業の景況感を示す業況判断指数（D・I）は、大企業・製造業でプラス22だった。前回の6月調査のプラス17から5ポイント上昇し4四半期連続で改善した。これは、10年ぶりの高水準となり、2008年秋のリーマン・ショック後で最も高くなっている。円安で輸出が好調だったことやIT関連の設備投資、自動車部品の生産も堅調に推移した。大企業・非製造業の業況判断指数は前回のプラス23から横ばいとなっている。建設や不動産は景況感の水準としては高いが、宿泊・飲食サービスが、深刻な人手不足で景況感を押し下げたほか夏季の天候不順も響いた。中小企業・製造業の業況判断指数は前回のプラス7から3ポイント改善し、プラス10となった。これで5四半期連続して改善となっている。中小企業・非製造業も前回のプラス7から1ポイント改善してプラス8となっており、こちらも5四半期連続で改善している。

3か月後の先行きの見通し（本年12月予測）は、大企業・製造業がプラス19と今期より3ポイント悪化、大企業・非製造業もプラス19と今期よりも4ポイント悪化すると予測しており、北朝鮮のミサイル問題や人手不足が業績を圧迫する懸念があると見られる。中小企業においては、製造業が今期より2ポイント悪化しプラス8、非製造業は4ポイント悪化しプラス4と予測しており、大企業同様、先行きに慎重な見方が多くなっている。

内閣府が9月25日に発表した9月の月例経済報告におい

ては、国内景気は「景気は、緩やかな回復基調が続いている」との判断を維持した。これで、6月に景気判断を引き上げて以降4ヶ月連続して同じ判断となっている。また、個人消費、設備投資、住宅建設、公共投資などの主要項目でも軒並み判断を据え置いている。

商工会地域の景況調査においては、今期（2017年7月～9月）の業況に関するD・I値は、製造業が前期より1.9ポイント改善しマイナス16.2としたが、建設業は12.5ポイント悪化しマイナス26.1、小売業は10.0ポイント悪化しマイナス42.5、サービス業も5.2ポイント悪化しマイナス17.7となっている。前期は全業種が改善し、その水準も高かったが、今期は、製造業以外は悪化に転じてしまい厳しい状況となっている。

来期（2017年10月～12月期）の業況予測については、製造業が今期実績よりも22.9ポイントと大幅に改善しプラス6.7になると予想している。建設業は今期実績より13.1ポイント悪化しマイナス39.2、小売業は2.2ポイント悪化しマイナス44.7、サービス業は今期より0.2ポイント改善しマイナス17.0となっている。製造業の来期予測には目を見張るものがあり、最も悪い小売業と比べると51.4ポイントの差がある。

商工会地域の景況感には、前期に全業種が改善し回復基調になるかと思われたが、今期は、製造業以外は悪化傾向に転じており、来期予測も含めて厳しい状況となっている。

（中小企業診断士 橋本大輔）

## 業界天気動向図

| 項目    | 売上                      |                       |               |               | 採算（経常利益）                |                       |               |               | 資金繰り                    |                       |               |               |
|-------|-------------------------|-----------------------|---------------|---------------|-------------------------|-----------------------|---------------|---------------|-------------------------|-----------------------|---------------|---------------|
|       | 10H<br>5/28<br>12年<br>月 | 1H<br>5/29<br>3年<br>月 | 4<br>5/6<br>月 | 7<br>5/9<br>月 | 10H<br>5/28<br>12年<br>月 | 1H<br>5/29<br>3年<br>月 | 4<br>5/6<br>月 | 7<br>5/9<br>月 | 10H<br>5/28<br>12年<br>月 | 1H<br>5/29<br>3年<br>月 | 4<br>5/6<br>月 | 7<br>5/9<br>月 |
| 製造業   |                         |                       |               |               |                         |                       |               |               |                         |                       |               |               |
| 建設業   |                         |                       |               |               |                         |                       |               |               |                         |                       |               |               |
| 小売業   |                         |                       |               |               |                         |                       |               |               |                         |                       |               |               |
| サービス業 |                         |                       |               |               |                         |                       |               |               |                         |                       |               |               |

各項目については次により表示した。

| 区分 | 増加<br>好転    | やや増加<br>やや好転 | 横ばい      | やや減少<br>やや悪化 | 減少<br>悪化   | 大幅に減少<br>非常に悪化 |
|----|-------------|--------------|----------|--------------|------------|----------------|
|    | D・I値(前年同期比) | 20.1～        | 5.1～20.0 | 5.0～△5.0     | △5.1～△20.0 | △20.1～△35.0    |
| 表示 |             |              |          |              |            |                |

## 今期直面している経営上の問題点需要の停滞

（数値の左は前期構成比、右は当期割合を%で記す）

| 業種    | 1位                 |      | 2位                             |      | 3位  |      |
|-------|--------------------|------|--------------------------------|------|---|------|
| 製造業   | 1位にあげる問題点<br>需要の停滞 |      | 2位<br>製品ニーズの変化、製品（加工）単価の低下、上昇難 |      | 3位<br>人件費の増加、従業員の確保難                        |      |
|       | 前期                 | 今期   | 前期                             | 今期   | 前期  | 今期   |
|       | 21.0               | 28.1 | 15.6                           | 12.5 | —   | 9.4  |
| 建設業   | 1位<br>官公需要の停滞      |      | 2位<br>従業員の確保難                  |      | 3位<br>材料価格の上昇、請負単価の低下、上昇難、取引条件の悪化、民間需要の停滞   |      |
|       | 前期                 | 今期   | 前期                             | 今期   | 前期  | 今期   |
|       | 26.3               | 36.8 | 0.0                            | 15.8 | —   | 10.5 |
| 小売業   | 1位<br>需要の停滞        |      | 2位<br>購買力の他地域への流出              |      | 3位<br>大型店・中型店の進出による競争の激化                    |      |
|       | 前期                 | 今期   | 前期                             | 今期   | 前期  | 今期   |
|       | 19.5               | 24.4 | 14.6                           | 19.5 | 24.4  | 14.6 |
| サービス業 | 1位<br>需要の停滞        |      | 2位<br>店舗施設の狭隘・老朽化              |      | 3位<br>従業員の確保難                               |      |
|       | 前期                 | 今期   | 前期                             | 今期   | 前期  | 今期   |
|       | 19.1               | 31.1 | 10.6                           | 13.3 | 14.9  | 11.1 |
|       |                    |      |                                |      | 4位<br>同業者の進出消費者ニーズの変化、店舗の狭隘・老朽化、販売単価の低下、上昇難 |      |
|       |                    |      |                                |      | 前期  | 今期   |
|       |                    |      |                                |      | —   | 7.3  |
|       |                    |      |                                |      | 4位<br>利用者ニーズの変化、利用料金の低下、上昇難                 |      |
|       |                    |      |                                |      | 前期  | 今期   |
|       |                    |      |                                |      | —   | 8.9  |